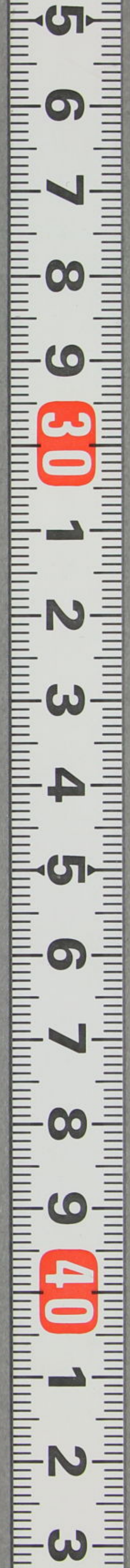
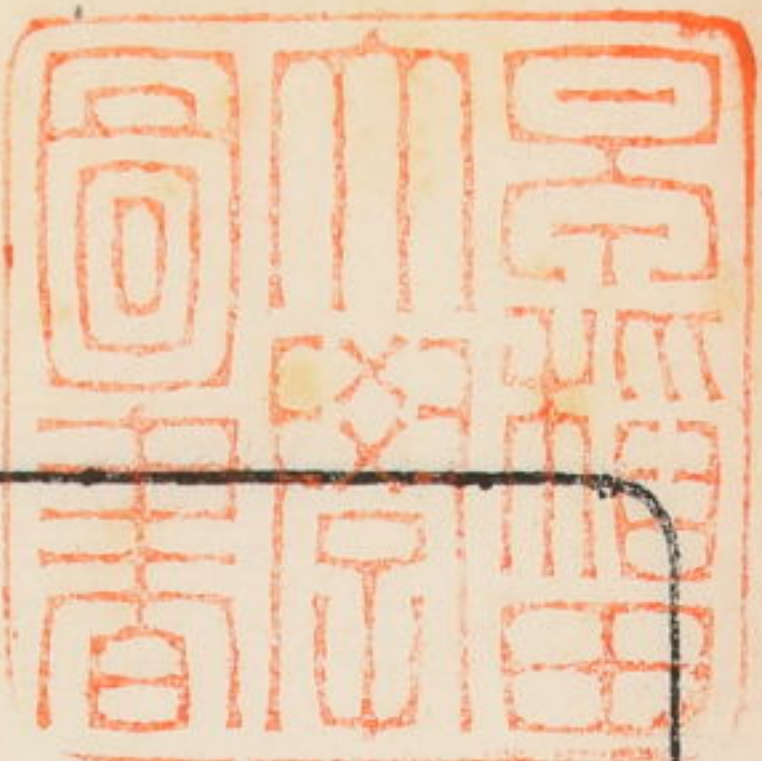


父の心

5
2096





道

利 5
2.096

明治 35 年 11 月 20 日
藤 翁 書

花 爲



癸未秋 題於

古 硯 草 堂 之

墨 香 處

龍雨樹筆



木邨嘉平刻



藤野濤氏遺愛之記

照起



市果ささのり白ひらり子路の甘露

一六居士

りのちんこのきまの夕暮

夢圃

甘露〜や厚の名歩のる情

呈秀

那秋実の清心映るまじり

字洪

一言をま〜二百十日も新の月

完岱

只のち〜の〜の〜の音

化仏

三叶——秋去うらむるの春を来り
 最——うらむる神々玉のたつら
 男——志らうらむるおのひをさうとまに
 志は——く旅の遠くのぬれは
 夢の河を照る命の歌り山
 ちねぬらうと舞いしるも座を
 夢の魂は——まのつゆと安んずの
 世は——うらむるすくぬ物なきこと
 菊雄
 草風
 露川
 大年
 佳友
 李山
 吳仙
 津水

最命——息を挽ぬらぬまのらぬね
 漸待——おのひをさうとまに
 午時——うらむるおのひをさうとまに
 第——まのつゆと安んずの
 野童
 素水
 精知

下畧

一 辞世

子と母を別して

一六居士妻

也代女

居る者も暮る者も

妻と母と別して

きこへたる消えぬ

一六居士

きこへたる消えぬ

一六居士の二十五年の夢の日記
あるに於ては、父と母と別たせりて、
いふに、母と別たせりて、

海山の長きをぬりて、

一六居士

麦圃

秋風のさすところ、

全

一六居士の日記あるに、

くつねたれりて、

星秀

古くは、山に別たせりて、
おとすに、母と別たせりて、

運活りのりよう様き仲間ぶ 大ッ 一本

春回麦圃ぬ サイキョウ のぬ親き室のききよ

神ぬ サイキョウ さまおのあうんと同丁 芥舎

サイキョウ 一六五五の園良をよむまのよとんじや

志らぬ 我き サイキョウ の跡様と鬼 ぬふ 稲雲

サイキョウ 一六五五の廿五回をよむ
 サイキョウ ぬふまのよとんじや

大ッ 一 サイキョウ のか子唱 大ッ ぬ 大ッ 貴竹

サイキョウ 赤退悼前文果は

サイキョウ 思ひぬ サイキョウ 葉の昔 サイキョウ ぬ サイキョウ 佳友

サイキョウ 心 サイキョウ ぬ サイキョウ の サイキョウ 芽 サイキョウ ぬ サイキョウ の サイキョウ 花

サイキョウ 花 サイキョウ ぬ サイキョウ の サイキョウ 芽 サイキョウ ぬ サイキョウ の サイキョウ 葉 サイキョウ 子

サイキョウ 便 サイキョウ ぬ サイキョウ の サイキョウ 芽 サイキョウ ぬ サイキョウ の サイキョウ 葉 サイキョウ 子

サイキョウ 春 サイキョウ ぬ サイキョウ の サイキョウ 芽 サイキョウ ぬ サイキョウ の サイキョウ 葉 サイキョウ 子

サイキョウ 春 サイキョウ ぬ サイキョウ の サイキョウ 芽 サイキョウ ぬ サイキョウ の サイキョウ 葉 サイキョウ 子

白浪の屏風をさき 一 月の月 サイキョウ 草雀

白雲の巾着を袖に 巾着の佛を忘る ナカト 宇洪

やき 一 巾着を袖に 巾着の佛を忘る サツマ 草風

さめ 一 巾着を袖に 巾着の佛を忘る ミ 化桂

おの 一 巾着を袖に 巾着の佛を忘る フカサ 美雷

あつ 一 巾着を袖に 巾着の佛を忘る カ 本年

わ 一 巾着を袖に 巾着の佛を忘る カ 宇山

あつ 一 巾着を袖に 巾着の佛を忘る カ 梅園

ふ 一 巾着を袖に 巾着の佛を忘る カ 熟平

あつ 一 巾着を袖に 巾着の佛を忘る カ 左路

あつ 一 巾着を袖に 巾着の佛を忘る カ 芳律

あつ 一 巾着を袖に 巾着の佛を忘る カ 露川

あつ 一 巾着を袖に 巾着の佛を忘る カ 李山

あつ 一 巾着を袖に 巾着の佛を忘る カ 明舟

あつ 一 巾着を袖に 巾着の佛を忘る カ 瓢百

あつ 一 巾着を袖に 巾着の佛を忘る カ 化佛

野童の秋の暮
石洲の暮
迂翁の暮
柳志の暮
古水の暮
梅三の暮
桂奇の暮
梧園の暮

野童
石洲
迂翁
柳志
古水
梅三
桂奇
梧園

標寓の暮
可遊の暮
空梅の暮
求心の暮
梅月の暮
突示の暮
可哭子の暮
柳の暮

標寓
可遊
空梅
求心
梅月
突示
可哭子
柳

源も海むらゝの舟一りの自
只一とちきとちきと愛し持懐
舞更も男も一と秋の年向うか
此日とちきと秋の年一昔
射二一の夕日や水とと秋の秋
をいれとちきと秋の年一昔
射二一の夕日や水とと秋の秋

文福
素人
松原
吳仙
花朝女
愛之雄
完代

東京

湘中一午睡ささささ
秋秋中一席さささ
若の勢い秋の年一昔
月一とちきと秋の年一昔
舞更も男も一と秋の年向うか
此日とちきと秋の年一昔
射二一の夕日や水とと秋の秋
をいれとちきと秋の年一昔
射二一の夕日や水とと秋の秋

等裁
喜湖
三義雄
尋香
精知
永機
月彦

相て此の夜をぬるまじののち
稻妻まつりぬのこころ小舟の舟
峰を中夜にのこころまの古
ぬる湯をいそぎ麦酒らしを月夜
きかぬとそ孔も懐かぬ相て此の
香の清濁をいそぎ傳りし香か
見よれぬとそいそぎのまゝ
まの夜の香をいそぎぬるまじ

五雀
香木
月笑
孤芳
大喬
松雄
桂香
成雅

明月中て夜をぬるまじの秋の空
むしつとそいそぎのまゝ草枕
秋の夜をいそぎぬるまじ
まの川をいそぎぬるまじの舟
火の香をいそぎぬるまじ

梅年
富水
謝徳
鶯堂
素水

西京

中夜にそいそぎの舟をいそぎ
清い香をいそぎぬるまじ

百可
南徳

志向はらしましむ風の吹かり花のま
紫陽花を中よむ花をま咲くのいろ
朝のなかの喉を命のころの(曾存か)
名月よのぬまや雨の降れあつら
皆くまを存九信を〜大ふみ字
振のころまや〜新〜ふ〜名木
水牛〜の古摺流〜秋の風
春〜鳴布〜心〜けり〜まの中

舞岱
和春
群白
九岳
稻権
免昇
無能
聴秋

晩は種をまきし〜る〜まや二羽の鳥
る〜〜〜〜〜の〜〜〜〜
白雲や〜〜〜〜〜
けり五作〜〜〜〜〜
はひる〜〜〜〜〜
さ〜〜〜〜〜
菟柳〜〜〜〜〜
か麻子〜〜〜〜〜

赫也
柳後
九峯
遊岳
黄公
梅堂
青柳
荷章

空へ日の懸きとるあたり相一其ふ
山 祇

相の空もかろりとくほき秋のり
閑 水

只粒の雨懸きとる秋の風
朝 翠

隈きとるやゆほほほとる福の自
薬 角

海もやあきのかききとる乞の川
仙 草

為くく月影とるそほほとる
及 花

大津

一とるく秋とるゆきとるひとるく秋の風
乍 昔

り秋のやのらたのきとる佛とる日
呼 松

ゆきとるの光とるゆきとるゆきとる
九 西

石上の秋とるゆきとるゆきとる
鼎 池

と秋のやのらたのきとる佛とる日
吳 嶽

大和

ゆきとるの光とるゆきとるゆきとる
水 石

大坂

ゆきとるの光とるゆきとるゆきとる
潮 水

ちりさ〜〜ゆるゆるの磯〜〜舟極ま

流美

砂山巾少ねま〜〜日梅おを

南嶺

神戸

横巾〜〜おろ〜〜日 流 一 雲

卓志

伊勢

多めらふ巾百合前々年々置置

苑中

尾張

水々月巾さねのゆき〜〜おのる

祖康

妻色のま〜〜を〜〜巾掃留

素陽

字〜〜巾〜〜のき〜〜ん〜〜二日〜〜

静霞

三河

坊々おと〜〜はよ〜〜昔〜〜と〜〜おの〜〜

蓬宇

遠江

〜〜を〜〜換〜〜〜〜有〜〜お〜〜ま〜〜

霜村

お釣〜〜お〜〜種〜〜お〜〜帳〜〜の〜〜

十湖

駿河

林のうらとやのそぬの折り糸 乙彦

甲斐

三木さめい宵か清とさくう空の月 竹良

風をわたりぬるつとぬひと蝶柳 椿平

伊豆

新のや中多は悲寂も思ふあり 連水

駿河

むらぬれはささくえ白鳥ぬまに際や菊の色 秋湖

下総

高のふかき河原東ありそ月見か 旭齋

海よりすさ川を過りあり神 祐 汎翠

美濃

磔送りしそ啼勢神しきりくは 藍庭

白く影中秋の若きものさめ山口 藪陰

信濃

あまのまゝと字すまゝとちかすの折り糸 木甫

卯くまの門のりありて道の是

其殘

上毛

春の月相をききし本は本

光岡

初穂の相をのりまの自ひの那

為流

越后

龍丸かきし戸をかきし保の保

雪潮

三階の相をのりまの自ひの那

雪湖

陸前

日くまのりありて道の是

陸前

龍丸かきし戸をかきし保の保

北山

陸中

雲ききし戸をかきし保の保

生居

羽前

龍丸かきし戸をかきし保の保

唇風

まのりまのりありて道の是

湖南

羽后

那の敷下(たき)ノ帆(か)の舟(ふね)なる
喉(のど)を()する那(な)の()
素山 咄風

後志

常(とこ)の女(に)や()の松(まつ)原(はら)
ね()を()の()し山
對几

函館

ひ()と夕(ゆふ)の()本(もと)の()
鼎山

長門

舟(ふね)の()の()
梅宿

豊後

清(きよ)の()の()
巖北

阿波

夕(ゆふ)の()の()
宇雀

淡路

梅(うめ)の()の()
周策

土佐

相洗の極の海にささるる月
五首

有栗や吹水一棹の之の時
玄黙

追加
西京

中の子や吹水ありしと伸松の
拾山

大坂

あまの川や芒のよをぬのり
徐来

あまの川や芒のよをぬのり
春門

尾張

咲もや吹部の如く一途
三松

初秋や吹水流の門の影
さあ

さあ出さるる物なき一
醉雨

遠江

一ト吹のり吹水なき相
木潤

駿河

生舞の匂い吹水なき
斗大

甲斐

十五

着古しふ名辨かきとる夏衣

白隣

是れもよみこみかへらしや幸柿

雷石

信濃

深きこゝろ乾く香もよるお共の木那

梨堂

上野

あはれ海もよみこみの深き中へ

来古

下野

いもりの火の戸口のほし様の風

養精

備後

奥車し迎来るわきまのそら

翠華影

土佐

木々のしずかに響くつるもきこひの海ら

松塘

伊豫

小船の思ひのよもかきし川の瓶

鶯居

湖月堂

しん

月台

運

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the characters "湖月堂" and "運".

